

第4学年 国語科学習指導案

指導者 三益 美千郎
場 所 2階4年教室

- 1 単元名 説明のしかたについて考えよう
教材名 「アップとルーズで伝える」

4 指導計画と評価計画（総時数 8 時間）

時	次	目 標	主な学習活動	評価規準（評価方法）	評価観点			
					関	書	読	言
1	一	「アップとルーズで伝える」を読み、筆者の説明の工夫に関心をもち、「学校スライドショー作りの手引書」を作成するという目的意識をもつことができる。	・実際のスポーツニュース等の映像から、アップとルーズの技法を見つける。 ・単元の学習計画を立て学習の見通しをもつ。	・筆者の説明の工夫に関心を抱き、「学校スライドショー作りの手引書」を作成するという活動に意欲をもっている。（観察・発言・ノート）	○			
2	二	①②③段落を読み、写真と文章を対応させた表現方法を理解する。	・①②段落から写真の示す内容や対比されている事柄をとらえる。 ・①②③段落の関係と、③段落が問いであることを確認する。	・写真と文章の対応関係をつかみ、「アップ」と「ルーズ」の意味を理解している。（観察・発言・ノート）			○	
3 (本時)		④⑤⑥段落を読み、対比の関係をういた表現方法を理解する。	・④段落の叙述と写真、⑤段落の写真をもとに、⑤段落の叙述を考えることを通して、対比の関係や④⑤⑥段落の関係をとりえる。	・対比を用いた筆者の説明の工夫をつかみ、「アップ」と「ルーズ」の長所と短所を理解している。（観察・発言・ワークシート）			○	
4		⑦⑧段落を読み、類比の関係をういた表現方法とまとめの表現方法を理解する。	・⑦段落があることの意味を考える。 ・筆者の伝えたかったことについて話し合う。	・⑦⑧段落の、ほかの段落との関係をとりえ、「アップ」と「ルーズ」の使い分けを理解している。（観察・発言・ノート）			○	
5		全文を読み返して段落の役割をとらえ、文章全体の構成をつかむことができる。	・文章構成図を作り、大きなまとまりのつながりや文章構成全体をとらえる。	・段落相互の関係を理解し、文章全体の構想をつかんでいる。（観察・発言・ノート）				○
6	三	「アップ」と「ルーズ」の例を見つけ、説明するうえでのよさを考えることができる。	・新聞、雑誌での「アップ」と「ルーズ」の使われ方を確かめ、その意図を考える。	・実際の例から使われ方を見つけ、意図とよさを考えている。（観察・発言・ノート）			○	
7		説明のしかたの工夫についてまとめることができる。	・筆者の説明の工夫を確認し、「学校スライドショー作りの手引書」として、自分で撮った写真を使ってまとめる。	・写真と文章の対応、対比した表現のよさに気づき、ワークシートにまとめている。（観察・発言・ワークシート）			○	
8		説明のしかたの工夫について報告し合い、学習をまとめる。	・各自の「学校スライドショー作りの手引書」を発表し合い、説明のしかたについてまとめる。	・友達の発表からも、写真と文章の対応、対比した表現のよさについて気づき、まとめている。（観察・発言・ノート）			○	

※「学校スライドショー手引書」に用いる写真は、第1次終了後、課外において各自で撮り、ためていく。

(1) ねらい	④⑤⑥段落を読み、対比の関係を用いた表現方法を理解する。
(2) 評価規準	読 ④⑤⑥段落相互の関係をつかみ、「アップ」と「ルーズ」の長所と短所を理解している。
(3) 準備	ワークシート，教科書の拡大コピー
(4) 展開	

17

(5) 筋道を立てて説明するための本時の位置づけ

付 け た い 力	教師が求める説明	支 援
文章の細かい点（接続詞，対比的な表現，段落構成，写真と文章の対応）に注意して読んで段落の関係をとらえ,それをもとに説明する力。	⑤段落の文章を考えるにあたり，自分が考えた文章の根拠となる ④段落の叙述を述べるとともに，筆者がどのような表現の工夫をつかっていると思うかということをも理由として述べる。	不完全な発言であっても，思いを具体化する発問（「つまり」「例えば」など）を入れて，要約を促し，協同的に発言をつくっていくようにする。または④段落に立ち返って読み直すことで文章の構成をつかむ手がかりとする。

(6) 板書計画

